

佐世保工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	国語
科目基礎情報						
科目番号	2M1420		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 3		
開設学科	機械工学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	前期:4 後期:2		
教科書/教材	文学国語（筑摩書房）・探求言語文化（桐原書店）					
担当教員	川口 良治					
到達目標						
1. 論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 2. 論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。 3. 文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。 4. 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。 5. 類義語・対義語を思考や表現に活用できる。 6. 社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。 7. 専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	18歳(選挙権年齢)相応の漢字熟語や慣用表現等の語彙を習得し、正確に表記、使用できる。		習得している語彙が18歳(選挙権年齢)相応には不足しているが、身につけようとする意識が高い。		習得している語彙が18歳(選挙権年齢)相応に達しておらず、身につけようとする意識も乏しい。	
評価項目2	比喩的、象徴的な表現に込められた含意を理解し、文学作品を鑑賞できる。		比喩的、象徴的な表現に込められた含意の理解に関心があり、文学作品を鑑賞できる。		比喩的、象徴的な表現に込められた含意の理解に関心がなく、文学作品を鑑賞できない。	
評価項目3	現代評論の論旨を、身近で具体的な問題と関連付けて、正確に理解できる。		現代評論の論旨を、身近で具体的な問題と関連付ける意識を持ち、理解できる。		現代評論の論旨を、身近で具体的な問題と関連付けることに関心がなく、理解できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	読む・考えるという日本語の能力を育成することにより、社会において求められる論理的かつ多角的な理解力、柔軟な思考力を培う。また、文学的な文章の鑑賞を通して日本語の言語文化についての理解を深める。					
授業の進め方・方法	授業は教員からの講義と学生同士のピア活動とを並行して行う。主体的に取り組み、他者の意見や考え方を取り込むことで自らの思考を深めることを強く求める。自分の感想や意見をまとめ、授業内で公開しあうことも往々にしてあるため、このことを念頭に日々の授業に取り組むこととする。					
注意点	試験の平均点の3割に満たない者については、成績不振者のための追試験を実施しない。 各授業項目および授業時間の配分は、学生の理解・習得の状況を確認しながら、変更することがあり得る。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	1 ガイダンス 2 『情報の彫刻』（原研哉）		年間の教育目標を提示し、評価法についても理解する。視点の重要性や面白味について学ぶ。	
		2週	古文『丹波に出雲』（徒然草）		古文を読み慣れるとともに、文章に介在している批判精神についても目を向ける。	
		3週	古文『花は盛りに』（徒然草）		古文を読み慣れるとともに、日本人の美意識に関して「流れ」として提示することで理解を深める。	
		4週	小説『山月記』（中島 敦）		小説の構造をなす事項（時・場・人物・事件設定）や李徴の心理を的確に読み取ることで、李徴がどのような人物として描かれているか考える。	
		5週	小説『山月記』（中島 敦）		小説の構造をなす事項（時・場・人物・事件設定）や李徴の心理を的確に読み取ることで、李徴がどのような人物として描かれているか考える。	
		6週	短歌『死にたまふ母』（斎藤茂吉）		短歌の連作を通じて表現の妙味を味わう。作者の心情理解を深める。	
		7週	漢文『唐詩』（王維・李白・杜甫）『古典の魅力～友情』（松浦友久）		漢文の基本を確認するとともに、凝縮された言葉の世界に触れる。	
		8週	前期中間試験			
	2ndQ	9週	評論『メディアと倫理』（和田伸一郎）		論点をしっかりと整理する。筆者の主張がどこにあるのかを的確に把握する。	
		10週	詩『永訣の朝』（宮沢賢治）		現代詩のレトリックを様々な方向から学習するとともに、作者の心情理解を深める。	
		11週	古文『木曽の最期』（平家物語）		古文の音読を通じて、平家物語の世界を広めてゆく。	
		12週	小説『こころ』（夏目漱石）		登場人物に関する相関図を作成する。特に「私」と「K」との関係性を丁寧に読み取り、事件に至る経緯を理解する。	
		13週	小説『こころ』（夏目漱石）		明治という時代の制度や理念などを調べ、登場人物の行動を読み取るなかから、人間の精神のあり方について考える。	
		14週	漢文『管鮑之交』（史記）		漢文訓読の基本的な事柄についての理解を深める。	
		15週	漢文『臥薪嘗胆』（十八史略）		漢文の訓読に慣れるとともに、しっかりとした口語訳を行える力を身に付ける。	
		16週	前期定期試験			

後期	3rdQ	1週	評論『論語～私の古典』（高橋和巳）	1年時に学習した『論語』の復習を兼ねて内容理解を深める。	
		2週	評論『論語～私の古典』（高橋和巳）	筆者の論点をしっかりととらえる。また、この教材を通じて古典文学を学習する意義についても認識を持つ。	
		3週	小説『蠅』（横光利一）	表現の様々なレトリックに関する理解を深める。	
		4週	小説『蠅』（横光利一）	小説に込められた作者の真意の解明に迫る。	
		5週	古文『旅こそ栖』（奥の細道）	『奥の細道』の理解はもちろんのこと、紀行文学に関してもできる限り幅広く学習する。	
		6週	古文『那須野の少女』（奥の細道）	内容の理解を深め、俳諧に関しても基礎的な学習を行う。	
		7週	●小説『魂込め』（目取真俊）	レポート課題	
		8週	後期中間試験		
	4thQ	9週	評論『化け物の進化』（寺田寅彦）	論点をしっかりと整理する。筆者の主張がどこにあるのかを的確に把握する。	
		10週	評論『化け物の進化』（寺田寅彦）	「ことば」と「意識」との相関について掘り下げる一つのきっかけにしながら、独自の見解についての見識も深める。	
		11週	小説『猿ヶ島』（太宰治）	全体をしっかりと通読する。読後に感じたことや疑問点などをノートにしっかりとまとめる。	
		12週	小説『猿ヶ島』（太宰治）	作品に込められた寓意を理解するとともに、主題に関しても理解を深める。	
		13週	漢文『雑説』（韓愈）	表現に込められた寓意性までしっかりと読み深める。	
		14週	漢文『雑説』（韓愈）	漢文読解の総仕上げを行う。	
		15週	●評論『建築論ノート』（松山 巖）	レポート課題	
		16週	後期定期試験		
評価割合					
	試験	レポート	ノート	授業態度	合計
総合評価割合	80	10	5	5	100
基礎的能力	80	10	5	5	100
専門的能力	0	0	0	0	0